

田園調布駅前の民泊

「民泊」——新聞やTVで住民と民泊営業企業との軋轢が報道される例が多いのが現状です。しかし、田園調布商店街の民泊では、両者の争いは回避され、良い関係で開業実施になりました。

既にご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、田園調布駅前の民泊「SORA Den-en Stay」が昨年末にオープンしました。開業に先立ち地元3団体

社を通さず、近隣協力者として、住民から直接警備会社へ出動要請ができ、状況が改善されない場合には、新規予約の受付の停止を要求できるという条件も受け入れてもらいました。



SORA Den-en Stay (2・3階)

(田園調布商店街振興組合、一般社団法人田園調布会、田園調布二丁目自治会)では住宅地と隣接していることもあり運営会社に対して近隣住民への説明会を求め、その開催は3回に及びました。

民泊は常駐スタッフを置かず、顔認証で利用できる宿泊施設なので、トラブル発生時には運営会

「地域のことは地域が守る」という地道な活動がこれらの結果につながりました。開業後も、相互理解の上トラブルなく共存運営されるよう地域で見守っていくつもりです。

(編集委員 平山 智恵)

数字で見る田園調布

	2026/1/1	2025/1/1
世帯数	10,781	10,782
人口[人]	21,584	21,710
内 男性	9,973	10,059
女性	11,611	11,651

人口動態は毎年4月号に掲載します



① チャット GPT



編集後記

長きに渡り掲載した中学生の短歌・川柳ですが、今は国語の授業で作ることはなくなりました。時代の流でしょうか。無駄なものも省かれる。そんな流れに掉さす大人と、我関せずとスイスイ時代を泳ぎゆく子どもたち。そんな日常の「あるある」を、昔懐かしい4コマまんがにしました。作者はだれ? モデルは?... そんな謎解きミステリーと、今後の展開をお楽しみに。

田園調布中学 PTA
今井 佐和子



第142号
令和8年4月
April, 2026
季刊 Quarterly

でんえん

My town Den-en-chofu わがまち

発行 地域力推進
田園調布地区委員会
編集 でんえんわがまち編集委員会
事務局 田園調布特別出張所
大田区田園調布1-30-1
TEL 03-3721-4261
http://www.city.ota.tokyo.jp/

音を奏でる信号機

どこにどれだけあるか ご存じですか?

横断歩道や交差点で「カッコー」や「ピヨピヨ」等、音の出る信号機を音響式信号機と言います。視覚障害者が安全に道路を渡るためのものです。視覚障害者にとって道路の横断は、車の音や気配などを頼りにしても実に危険が伴うものです。

大田区内の音響式信号機は80カ所程ありますが、田園調布地区ではつい5年前までゼロでした。



カッコーなどの擬音以外「とっぴんせ」の音楽もありますが、今はほとんどが擬音です

『見える』という当たり前の世界がない人々にとって、外出すること自体が大きな緊張を伴います。

白杖を手に、歩行者、クルマや自転車、道路の段差等に細心の注意を払い、雑踏の中でも、また静かな場所でも、わずかな音だけを頼りに歩かなければなりません。さらに、信号機の色がまったく分からない状況で道路を横断することは、まさに命がけと言えるでしょう。

せめて道路を横断する時だけでも信号機から音が流れれば、その危険は軽減されるはずです。

大田区などに陳情

2024年9月、雪谷大塚駅前中原街道沿いに、翌年9月に田園調布駅前T字路および旧N T T

電話局の十字路、そして六間通り調布学園バス停近くの信号機に音響機器が増設されました。

次々と増設されたのは、その必要性を強く感じ5年以上前より関係各位に陳情を繰り返し、嘆願書を提出し、粘り強く要望を続けた二丁目在住、元脳神経外科医の佐藤正純さん^{注1}という視覚障害者の存在があります。

設置には周辺住民への配慮も

音響機設置には商店街の方や、近隣住民の多くの人達に事前に説明しご理解いただき、設置当日は警察の方々と現地を回り、音量は視覚障害者が「音」で青とわかるまで小さく、バスや電車も運行時のみ稼働するよう設定されました。

視覚障害者自身はシグナル

青信号時常に音が鳴る方式は近隣住民らの苦情もあり、多くは押しボタン式またはタッチ式になっています。さらに夜間は軽音



タッチ式制御盤

量化することも多いです。赤い小さな押ボタンに代わり大きな四角のボタンは、視力の弱い人にも見える様に配慮されています。



設置にあたり、現地で関係者と詳細を検討している(中央が佐藤さん)

エイドという携帯型リモコンでも操作ができます。

一方、視覚弱者も使えるように横断歩道脇に四角形のタッチパネルを設置しました。

☆☆☆

たくさんの人たちの協力のもと、やっと信号機に音響機器が増設されました。

鳴き声が耳に届いた折には暖かい気持ちで受け止めてください。

注1) 平成8(1996)年不慮の事故により失明。現在、つくば大学附属特別支援学校勤務(臨床医学講座担当)。

(編集委員 三輪 順子)

【ミニ解説】民泊って 本稿で取上げられているのは通称「特区民泊」という制度に基づいて開業しているものです。

特区民泊：国家戦略特別区域法(2016年)に基づいた事業形態です。大田区で指定された区域のみで実施可能です。

大田区への事前相談、各種申請が必要で、区から認定された場合に営業が可能になります。

田園調布地区で実施できる地区は次通りです：田園調布商店街・福徳商店街・環八道路沿線・中原街道沿線・東急多摩川線一部沿線等。

なお、2026年4月より、大田区では規制が強化されます。

①事前説明会：2回以上の義務化

②近隣周知の範囲：施設から半径10m以内→半径20mの範囲内全ての建物、私道等の生活圏を密にする建物使用者等

③緊急時の駆けつけ体制：30分以内の駆けつけ→徒歩10分以内に常駐管理者を配置に

④ごみの回収：週1回以上→3日を超えないごとに1回以上回収に、等

その他、以下の制度があります。

新法民泊：住宅宿泊事業(2018年)による制度。申請のみで実施可能ですが、年間180日の営業日数制限があります。家主居住型を除き閑静な住宅地では営業できません。

わがまち情報(2026年4月~6月)

- 4月6日(月) 田園調布小学校入学式
調布大塚小学校入学式
- 4月7日(火) 田園調布中学校入学式
- 4月26日(日) 第75回大田区子どもガーデンパーティー
- 6月5(金)~7(日) 多摩川浅間神社祭礼

でんえん
わがまち
HP





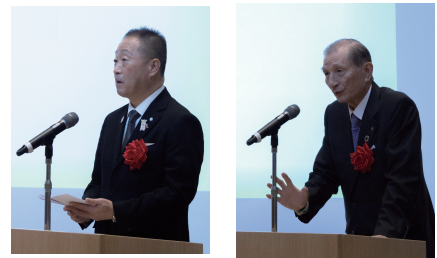
2025年11月16日、多摩川駅を降りた人々は、大きな丸い看板に導かれ田園調布せせらぎ館に入りました。

この日、一般社団法人田園調布会創立100周年の記念行事が、<式典>と<会員交流会>の二部構成で執り行われました。

■記念式典

日頃お世話になっている方々100名をお招きしての式典です。

まず、一般社団法人田園調布会 大高英昭会長は開会の挨拶で、100周年を次の世代へつないでいく決意を述べました。



鈴木大田区長 東急野本会長

来賓として鈴木晶雅大田区長からは「平和とみどりを守る町会」への期待が、東急株式会社野本弘文会長からは「田園調布とともに歩んだ東急電鉄の歴史」が語られました。

また、小池百合子東京都知事からの励ましのメッセージも紹介されました。

まちの100年の歴史

創成期から現在までのDVD「田園調布100年の歩み」がベートーベンの田園交響曲をバックに上映されました。

その最後は渋沢栄一翁の写真が映され、生成AIによってしゃべり始めたと思うや、シルクハット姿の男性が突如後方から姿を現し、会場は大いに沸きました。

一般社団法人 田園調布会 創立100周年 祝賀会 式典・交流会

大正13(1924)年12月、駅舎2階のデグス堂で初の住民協議会が開かれ、より恒常的な住民自治を確立すべく、大正15(1926)年、「田園調布会」が発足しました。さらに社団法人(1932年)、2015年10月には一般社団法人田園調布会となり現在に至りました。

年号もその間、大正、昭和(63年)、平成(30年)、令和と移り変わり、この100年を想い祝賀の会を催しました。



生成AIを用い しゃべる渋沢翁



小島深谷市長

この男性とは、埼玉県深谷市の小島進市長。深谷市は渋沢栄一翁の生まれ故郷ほか、ゆかりの施設も多数あり、今後、田園調布会と親善の協定を結ぶ予定です。

最後に9町会の会長が揃い、式典は盛会のうちに終了しました。

■会員交流会

会員を招待しての交流会は、110名もの会員が集まり和やかな雰囲気でお話弾みました。

世界的に活躍するバイオリンダクター中澤宗幸・きみ子夫妻が名器ストラディバリウスを用いて演奏。二期会オペラ歌手による「カルメン」他の歌声も披露され、素敵な音楽のひと時を堪能しました。最後は全員で「ふるさと」を合唱してお開きとなりました。

「胸がいっぱいになった」との言葉を多くいただき、理事一同、心より感謝申し上げます。



◆100周年記念事業

- 1. 記念誌の発行**
2000年に発行した郷土誌を基に、その後の歩みと将来の発展をめざし、「百周年記念郷土誌」を今年前半に刊行予定。
- 2. 記念切手の発行**
駅舎の昔と今をデザインした特製の切手シート。田園調布会事務所にて頒布中。
- 3. 記念碑の建立**
創立者の一人で服部時計店創業者 服部金太郎氏にちなみ、SEIKOの協力のもと、時計塔を駅前小公園に設置予定。
- 4. 記念植樹**
駅前小公園に桜を植樹予定。未来へ思いをつなぎます。
- 5. 100周年記念文化交流会**
文化交流プラザを拡充。会員外の方も空席があれば参加可能です。
(一般社団法人 田園調布会 会長 大高 英昭)



田園調布 小学校 100周年記念 記念式典・祝賀会 同窓会「青塔の集い」



田園調布小学校は、2025年11月22日(土)、開校100周年を迎え、体育館にて記念式典および祝賀会を盛大に開催しました。

午前：100周年記念式典

記念式典には5・6年生児童をはじめ、小黒仁史教育長を含む150名を超えるご来賓の皆さまにご臨席いただきました。

児童による力強い群読と澄んだ歌声が体育館いっぱいに響き渡り、100年の歩みを胸に刻む厳かで感動的な時間となりました。

長い歴史の重みと、未来へ続く希望が確かに感じられる式典でした。

午後：PTA 主催 祝賀会

祝賀会は、合唱団による校歌斉唱で華やかに幕を開けました。

鈴木晶雅区長、歴代校長先生、地域の皆さま、PTA関係者、在校生保護者など約200名が参加し、会場は終始あたたかな笑顔に包まれました。



田園調布お囃子保存会による 恵比寿様と大黒様

田園調布自治会連合会より寄贈いただいた枡での乾杯は、お囃子保存会の皆さまの盛り上げもあり一層華やかになりました。さらに、久住周年実行委員長率いるジャズバンドの軽快な演奏、卒業生でテノール歌手の志摩大喜さんによる迫力ある歌唱が披露され、会場は大きな拍手と感動に満ちあふれました。



「音楽に包まれた」をコンセプトにした祝賀会には、終始音楽が奏でられました。合唱団による校歌斉唱(写真左)



久住周年実行委員長が率いるジャズバンドの生演奏(写真中)



図工の時間に作られた子どもたちの「特大ケーキ」



自治会連合会 寄贈の「升」

音楽に包まれたひとときは、学校と地域の絆を改めて感じる心温まる時間となりました。

同窓会 青塔の集い

翌23日(日)には、田園調布小学校同窓会・青塔会主催の「青塔の集い」が開催され、500名を超える卒業生が来校。

改築によりいずれ消える現校舎を惜しみながら、世代を超えた交流が広がりました。

この歴史的な100周年記念事業に携われたことを、PTA会長として大変光栄に思います。本事業の実現に向けてご尽力くださった先生方、周年委員の皆さま、地域の皆さま、そして支えてくださったすべての関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。(田園調布小学校PTA会長 古尾谷一心)



同窓会主催「青塔の集い」のひとつコマ